

大学および大学院における地球惑星科学教育の現状

Education for Earth and Planetary Science and its related fields in Japanese Universities

高橋 栄一 [1]

Eiichi Takahashi[1]

[1] 東工大・理・地球惑星

[1] Earth and Planetary Sci., Tokyo Inst. of Tech.

我が国の大学の学科および大学院の専攻における地球惑星科学関連の教育は近年大きな変貌を遂げつつある。教養部廃止、教育学部再編、大学院重点化、国立大学法人化、これらにともなう様々なレベルでの統合・再編が地学教育変貌のひとつの原因である。加えて、地学の近隣に環境学という大きな学問分野が設置され、環境問題が深刻さを増すにつれて環境学の持つ比重が増すという、地学分野が置かれた独自の社会的背景もある。我が国の大学・大学院における地学関連教育（地質学、岩石鉱物学、地球化学、地球物理学、天文学、地理学、地球環境学を含む）の現状と問題点を探るため、日本学術会議 地球惑星科学委員会 地球・惑星圏部会では全国の関係学科、関係教室、および大学院専攻にアンケートを実施した。アンケート回収率は予稿作成時では全体の約30%である。連合大会ではアンケートの集計に基づき学部、大学院それぞれの教育の現状と問題点を紹介する予定である。